

Made for



iPod



iPhone

デスクトップオーディオシステム

TSX-112

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
- 保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

取扱説明書

安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という禁止を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なおいや音がする。
 - 異常に高温になる。
 - 内部に水や異物が混入した。● 煙が出る。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。
- ステープルで止めない。● 加工をしない。
- 熱器具には近づけない。
- 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。




必ず実行

必ずAC100V (50/60Hz) の電源電圧で使用する。

それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

本体の  ボタンでスタンバイ状態にしても、本機はまだ通電状態にあります。本機を完全に主電源から切り離すためには、電源コードをコンセントから抜いてください。

電池



禁止

電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因になります。



禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。

液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

分解禁止



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因になります。修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
 - 加湿器を過度にきかせた部屋
 - 雨や雪、水がかかるところ
- 水の混入により、火災や感電の原因になります。



禁止

放熱のため本機を設置する際には：

- 布やテーブルクロスをかけない。
 - じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
 - 仰向けや横倒しには設置しない。
 - 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
(本機の周囲に左右10cm、上15cm、背面10cm以上のスペースを確保する。)
- 本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。

使用上のご注意



必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。

感電の原因になります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ろうソクなどを置かない。

水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。

接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。



禁止

CD挿入口や、放熱用の通風孔、パネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。

火災や感電の原因になります。

お手入れ



必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。

ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。



注意

この表示の欄は、「傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。

差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。



禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。

感電や発熱および火災の原因になります。

電池



必ず実行

電池は極性表示（プラス+とマイナス-）に従って、正しく入れる。

間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



必ず実行

電池は幼児の手の届かない所に保管する。

口に入れたりすると危険です。



禁止

指定以外の電池は使用しない。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。

電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



長時間使用しない場合は、電池をリモコンから抜いておく。

必ず実行

電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。



使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外す。

必ず実行

破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



使い切った電池は、自治体の条例または取り決めに従って廃棄する。

必ず実行

設置



不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。

禁止



直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）には設置しない。
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。

禁止



ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。

禁止



他の電気製品とはできるだけ離して設置する。
本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

必ず実行



屋外アンテナ工事は販売店に依頼する。
工事には、技術と経験が必要です。

必ず実行

移動



移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。

プラグを抜く

接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上のご注意



再生の前には、音量（ボリューム）を最小にする。

必ず実行

突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。



音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。

禁止



環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。

注意

正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。



ブラウン管を使用したディスプレイから離して設置する。

注意

色むらが起きることがあります。



外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続する。

必ず実行



CD挿入口には手を入れない。
本機のメカニズムに手を引き込まれ、けがの原因になります。

禁止



ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクを使用しない。

禁止

ディスクは、機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因になります。



レーザー光源をのぞき込まない。
レーザー光が目当たると、視覚障害の原因になります。

禁止



大きな音で長時間ヘッドフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。

禁止

お手入れ



お手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。

必ず実行

感電の原因になります。



薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。

禁止

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。柔らかい布で乾拭きするか、汚れがひどいときは、水に布を含ませ、よくしぼって拭き取ってください。



年に一度くらいは内部の掃除を販売店に依頼する。

必ず実行

ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因になります。

目次

各部名称とその機能.....	2	シャッフル・リピート再生をする.....	12
iPod の接続.....	6	外部機器の音楽を聴く.....	12
時計を合わせる.....	6	スリープ機能を使う.....	13
iPod の音楽を聴く.....	7	設定メニューを使う.....	13
CD、USB 機器の音楽を聴く.....	7	故障かな?と思ったら.....	14
画面の表示内容を切り替える.....	8	ディスクおよび USB 機器について.....	17
ラジオを聴く.....	8	主な仕様.....	18
アラーム機能を使う.....	10		

iPod, iPhone

「Made for iPod」、「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod または iPhone 専用 に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって証明された電子アクセサリであることを示します。アップルは、これらの機器操作または、安全規制基準に関する一切の責任を負いません。

iPod または iPhone でこの電子アクセサリを使用すると、ワイヤレス機能に影響を与える可能性がありますのでご注意ください。

iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod shuffle、iPod touch は、米国およびその他の国々で登録されている Apple Inc. の商標です。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

▶ 本機でできること

- iPod/iPhone、CD、USB 機器と AUX を使った外部機器の再生と、ラジオの受信ができます。
- アラーム音として、音楽、ブープ音、またはその両方を設定できます。アラーム設定時刻になると、お好みの音量で設定した音楽が流れ、快適な目覚めを提供します。
- お好みのラジオ放送局を FM/AM それぞれ 30 局まで登録 / 呼出できます。
- 低音、高音をお好みの音質に調整できます。

▶ 本書について

- 本文中の iPod という表記は iPhone も含みます。
- 本体とリモコンのどちらでも操作できる場合は、本体での操作を中心に記載しています。
- ⓘ は参照先のページを表します。
- 「ご注意」では操作・設定を行うときに留意すべき事項、⚠ では知っておくと便利な補足情報を記載しています。
- 本書は製品の生産に先がけて作成されたものです。製品改良などの理由で実際の製品や梱装箱と内容が一部異なる場合がございますのでご了承ください。

▶ 付属品

リモコン



(CR2032 型
ボタン電池使用)

FM アンテナ



AM アンテナ

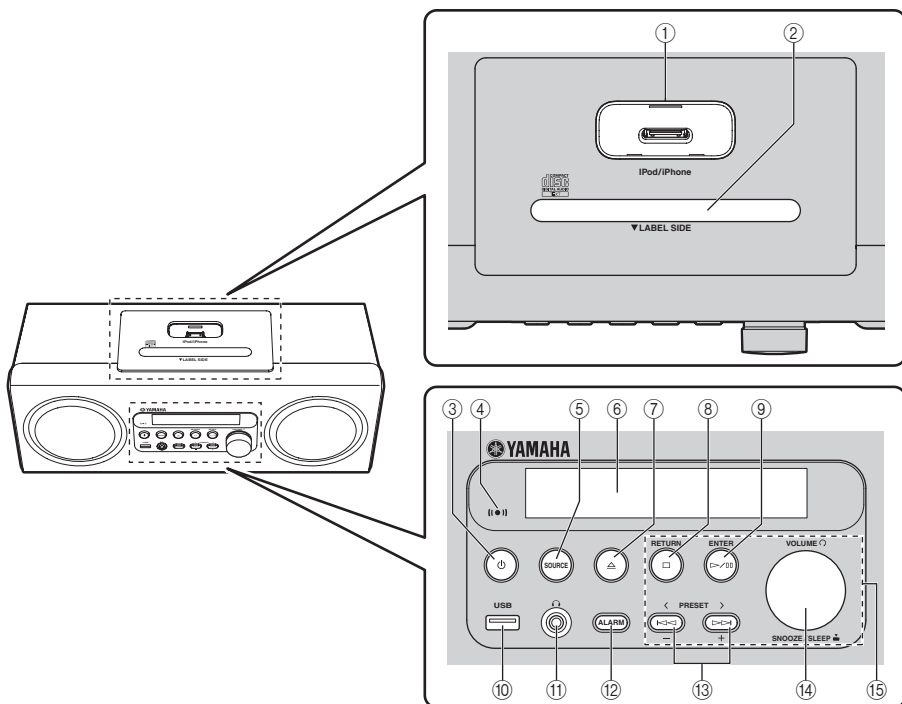


ドック
Dock カバー



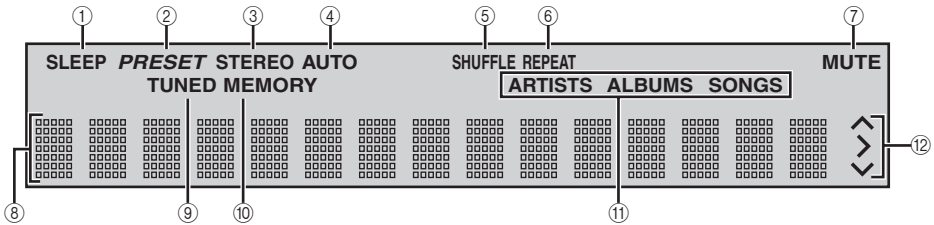
各部名称とその機能

▶ 上面、前面の機能



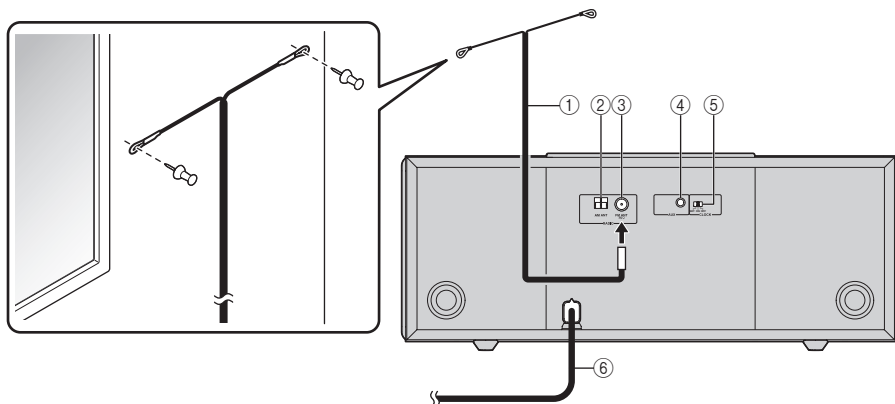
- ① ^{ドック} iPod Dock : iPod を接続します。
- ② CD 挿入口 (※ P. 7)
- ③ **⏻** : システムオン / オフ切替
- ④ **アラームインジケータ** : アラーム機能使用時に点灯、アラーム設定時に点滅します。(※ P. 10)
- ⑤ ^{ソース} SOURCE : ソース切替
- ⑥ **前面ディスプレイ** : さまざまな情報を表示します。システムオフ時に時刻が表示されます。省電力モード時は、前面ディスプレイの表示が消え、電力の消費を抑えることができます。省電力モードについては、「背面の機能 (アンテナ接続)」(※ P. 4) を参照してください。
- ⑦ **▲** : CD 取り出し
- ⑧ ^{リターン} RETURN : 設定中の項目をキャンセルする
- ⑨ ^{エンター} ENTER : 選択した項目の決定
- ⑩ **USB ポート** : USB 機器を接続します。(※ P. 7)
- ☼**
USB ポートに接続すると、充電が始まります。システムオフおよび省電力モード時には、充電されません。
- ⑪ **🎧** (ヘッドフォンジャック) : ヘッドフォンを接続します。
- ⑫ ^{アラーム} ALARM : アラーム機能オン / オフ切替 (※ P. 11)
- ⑬ ^{プリセット} PRESET (ラジオ聴取時) : プリセット選局 (※ P. 9)
- / + : 各種設定の変更
- ⑭ ^{スヌーズ} SNOOZE / SLEEP (※ P. 11, 13)
- ⑮ **オーディオ操作ボタン** : 曲のスキップ、早戻し / 早送り、再生 / 一時停止、停止、音量調整

▶ 前面ディスプレイ



- ① ^{スリープ}**SLEEP** インジケーター：スリープタイマー機能使用時に点灯します。(P. 13)
- ② ^{プリセット}**PRESET** インジケーター：プリセット局を選局しているときに点灯します。(P. 9)
- ③ ^{ステレオ}**STEREO** インジケーター：電波の強いFMステレオ放送を受信すると点灯します。
- ④ ^{オート}**AUTO** インジケーター：自動チューニングを行っているときに点灯します。(P. 8)
- ⑤ ^{シャッフル}**SHUFFLE** インジケーター：iPod、CD、USBがシャッフル再生に設定されているときに点灯します。(P. 12)
- ⑥ ^{リピート}**REPEAT** インジケーター：iPod、CD、USBがリピート再生に設定されているときに点灯します。(P. 12)
- ⑦ ^{ミュート}**MUTE** インジケーター：消音しているときに点灯します。
- ⑧ **メインディスプレイ**：さまざまな情報を表示します。
- ⑨ ^{チューンド}**TUNED** インジケーター：放送局を受信しているときに点灯します。(P. 8)
- ⑩ ^{メモリー}**MEMORY** インジケーター：自動または手動で放送局を登録しているときに点灯、自動プリセットで放送局を探しているときに点滅します。(P. 9)
- ⑪ **マルチインフォメーションインジケーター**：現在メインディスプレイで表示している音楽情報を表示します。(P. 8)
- ⑫ **操作インジケーター**：設定メニューを使用しているときに操作可能なカーソルを表示します。

▶ 背面の機能（アンテナ接続）



- ① FM アンテナ（付属品）
- ② AM アンテナ端子：付属の AM アンテナを接続します。
- ③ FM アンテナ端子：付属の FM アンテナを接続します。
- ④ AUX：外部機器を接続します。（※ P. 12）
- ⑤ CLOCK

セット

SET: 時計を設定します。（※ P. 6）

オン

ON: システムオフ時に時刻を表示します。

オフ

OFF: システムオフしたときに省電力モードになります。前面ディスプレイの表示が消え、電力の消費を抑えることができます。



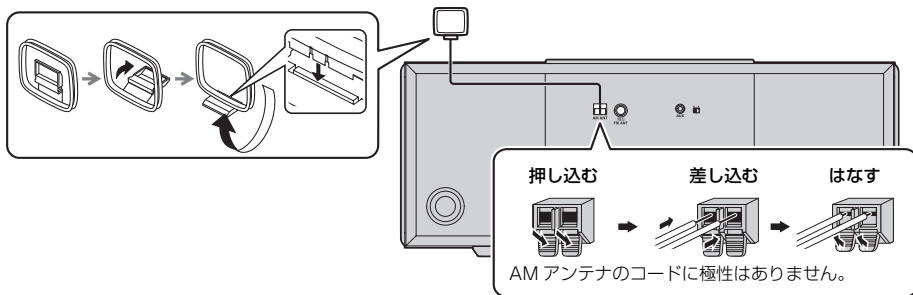
システムオフおよび省電力モード時でもアラーム機能は動作します。

- ⑥ 電源コード：コンセントに接続します。

ご注意

- アンテナはしっかりと張ってください。
- 付属のアンテナの代わりに屋外アンテナを使用すると受信状態が良くなります。
- 受信状態が悪い場合は、アンテナの高さや方向、設置場所を変えてください。
- 付属以外の FM アンテナを使用するときは、ねじ切りのないタイプをお使いください。

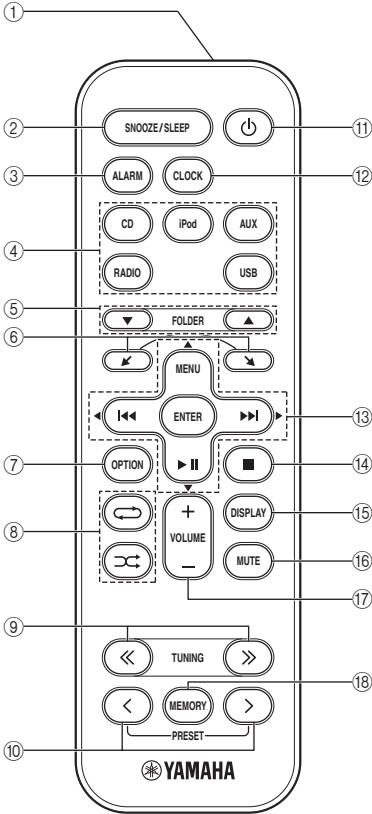
AM アンテナの組み立て



ご注意

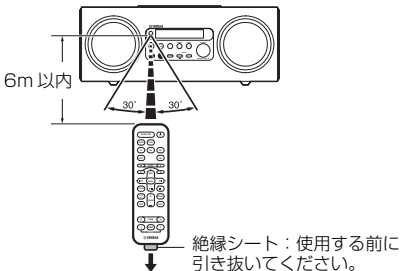
- 受信状況の良い場所を探して、アンテナを配置してください。
- アンテナの近くにデジタル機器等があると影響を受ける場合があります。

▶ リモコン



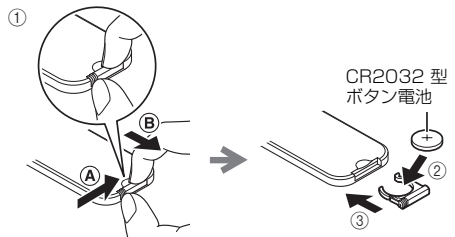
- ① 赤外線信号送信部
スヌーズ スリープ
- ② SNOOZE/SLEEP：スヌーズ/スリープ設定
(P. 11、13)
このボタンを長押し後、カーソル ▼/▲ →
ENTER
ENTER でスリープ設定します。
- ③ ALARM：アラーム機能オン/オフ切替 (P. 11)
- ④ ソースボタン：ソース切替。ラジオ聴取時に、
ラジオ
RADIO で FM/AM を切り替えます。
- ⑤ FOLDER (データ CD、USB 機器再生時)：
フォルダ
フォルダ切替
- ⑥ ▲、▼：iPod の画面をスクロールします。
- ⑦ OPTION：設定メニュー表示 (P. 13)
- ⑧ ⌂ (シャッフル)、↺ (リピート)：(P. 12)
- ⑨ TUNING (ラジオ聴取時)：ラジオのチューニング
チューニング
をします。(P. 8)
- ⑩ PRESET (ラジオ聴取時)：プリセット選局
プリセット
(P. 9)
- ⑪ ⏻：システムオン/オフ
- ⑫ CLOCK：時刻表示 (P. 6)
- ⑬ ⏮、⏭ (曲の再生中)：曲のスキップ、
早戻し/早送り (長押し)
MENU (iPod 操作時)：前のメニューに戻ります。
▶||：再生/一時停止
▲/▼/◀/▶ (設定メニュー操作時)：設定を変
更します。
- ENTER
(iPod 操作時)：グループを選択/再生
(設定メニュー操作時)：選択を確定します。
- ⑭ ■：再生停止
- ⑮ DISPLAY：ディスプレイの表示内容を切り替
ディスプレイ
えます。(P. 8)
- ⑯ MUTE：消音/消音の解除
ミュート
- ⑰ VOLUME：音量調整
ボリューム
- ⑱ MEMORY：放送局をプリセットに登録 (P. 9)
メモリー

▶ リモコンを使用する

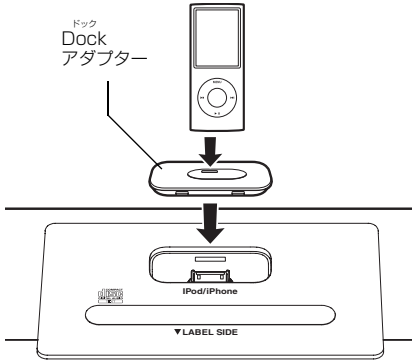


▶ リモコンの電池を交換する

- ① A の方向にツマミを押しこみながら、電池ケース
を B の方向に引き出してください。



iPod の接続



iPod を iPod Dock に接続します。



iPod Dock に接続すると充電されます。省電力モード時には、充電されません。

ご注意

- 確実に接続するために、iPod 同梱の Dock エンバーサルアダプターまたは市販の iPod Universal Dock アダプターを取り付け、iPod の保護ケースは取り外してください。
- アダプターを装着しない、またはアダプターが適合していない場合、ぐらつきや接触不良によりコネクターが破損する恐れがあります。Dock アダプターについては、アップルのウェブサイトをご覧ください。
- iPod に保護ケースを付けたまま無理に接続すると、コネクターが破損する恐れがありますので、保護ケースを外して接続してください。
- iPod を使用しないときは、コネクターを保護するために Dock カバーをかぶせてください。

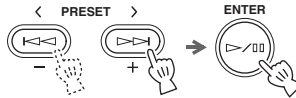
時計を合わせる

1



本体背面

2



本体

3



本体背面

1 CLOCK を SET にする。

2 時刻を合わせる。

— / + で「時」を合わせ、ENTER で決定します。同様の操作で、「分」を合わせます。



- 「分」設定時に RETURN を押すと、「時」設定に戻ります。
- 本体の SNOOZE/SLEEP を押すと、時間表示 (12 時間 / 24 時間) を選択できません。

3 CLOCK を ON に合わせ終了する。

ON に合わせた時点を 0 秒として、時計が設定されます。



- リモコンの CLOCK を押すと、一定時間時刻を表示します。
- 本体背面の CLOCK を OFF にすると、本機は省電力モードになります。

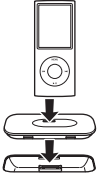
ご注意

電源コードをコンセントから抜くなどして、電力が 5 分間以上供給されないと、時計の設定はリセットされます。

iPod の音楽を聴く

対応 iPod については、「主な仕様」(P. 18) を参照してください。
リモコンの操作については、「リモコン」(P. 5) を参照してください。

1



2



1 iPod を iPod Dock に接続する。

2 SOURCE で iPod を選択する。

3 iPod を再生する。
リモコン、iPod、本機のいずれからでも再生できます。



- iPod はいつでも取り外せます。
- 本機がシステムオフ時でも、iPod のミュージックを再生することで本機は自動的にシステムオンし、iPod を再生します。



iPod が接続されていないとき、何も操作されない状態が 60 分間続くと、本機は自動的にシステムオフします。

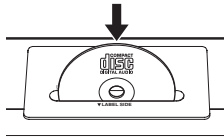
CD、USB 機器の音楽を聴く

▶ CD の再生

1



2



1 SOURCE で CD を選択する。

2 CD を入れる。
自動的に再生が始まります。リモコンと本機のどちらからでも操作できます。



Data Disc はファイルをアルファベット順に再生します。

ご注意

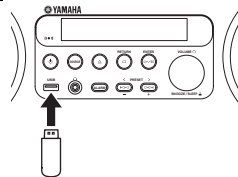
CD のラベル面を手前にして入れてください。

▶ USB 機器の再生

1



2



1 SOURCE で USB を選択する。

2 USB 機器を接続する。
自動的に再生が始まります。リモコンと本機のどちらからでも操作できます。

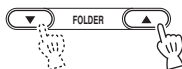


- USB 機器はいつでも取り外せます。
- ファイルの作成日時順に再生します。



- CD/USB 機器を再生中に ■ ボタンを押した場合、次回は再生していた曲の始めから再生されます。停止中に再度 ■ を押した場合、次回は CD/USB 機器内の最初の曲から再生します。
- 再生できるディスク、ファイルについては、「ディスクおよび USB 機器について」(P. 17) を参照してください。
- CD/USB 機器の再生を停止 / 一時停止したあと、何も操作されない状態が 60 分間続くと、本機は自動的にシステムオフします。

▶ データ CD/USB 機器のフォルダスキップ操作



リモコン

フォルダ
FOLDER でフォルダを選択する。
 前または次のフォルダの最初のファイルへスキップします。
 スキップしたとき、一定時間前面ディスプレイにフォルダ名が表示されます。
 ルートフォルダに曲がある場合、ルートフォルダの曲を再生しているときはディスプレイに **ROOT** と表示されます。

画面の表示内容を切り替える

前面ディスプレイに表示されている再生情報を切り換えることができます。前面ディスプレイに表示される文字は英数字のみです。漢字やひらがな、カタカナ、特殊記号は表示されません。

繰り返し押す



リモコン

ディスプレイ
 音楽再生中に、**DISPLAY** を繰り返し押す。

iPod

曲番号と再生経過時間（初期画面）

↓
 曲番号と残り時間
 ↓
 曲名
 ↓
 アーティスト名
 ↓
 アルバム名
 ↓
 初期画面に戻る

ご注意

この機能は iPod classic、iPod nano（2G 以降）、iPod touch、iPhone でのみご利用いただけます。ただし iPod のソフトウェアのバージョンによっては、上記のモデルでも使用できない場合もあります。

CD/USB

トラック / ファイル番号と現在の曲の再生経過時間（初期画面）

↓
 トラック番号と現在の曲の残り時間^{*1}
 ↓
 ディスクの総演奏時間^{*1}
 ↓
 ディスクの残り時間^{*1}
 ↓
 ファイル名^{*2}
 ↓
 曲名^{*3}
 ↓
 アーティスト名^{*3}
 ↓
 アルバム名^{*3}
 ↓
 初期画面に戻る

*1 オーディオ CD 再生時のみ

*2 MP3/WMA ファイル再生時のみ

*3 選択されたトラックが各情報を含んでいるときのみ

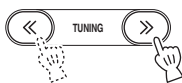
ラジオを聴く

放送局を選ぶ

1



2



リモコン

- 1** **SOURCE** で FM または AM を選択する。
2 自動チューニング：**TUNING** を長押しする。
 手動チューニング：**TUNING** を繰り返し押す。

ご注意

FM 受信中に手動でチューニングした場合、ラジオの音声はモノラルになります。

放送局をプリセットに登録する

プリセット機能を使って、FM/AMそれぞれ30局まで登録できます。

▶ 自動プリセット



- 1 ^{ソース}SOURCEでFMまたはAMを選択する。
^{メモリー}MEMORY
- 2 ^{メモリー}MEMORYを2秒以上長押しする。



キャンセルする場合は、手順3で^{エンター}ENTERを押す前に^{メモリー}MEMORYを押してください。

- 3 ^{エンター}ENTERを押す。
自動プリセットが始まります。

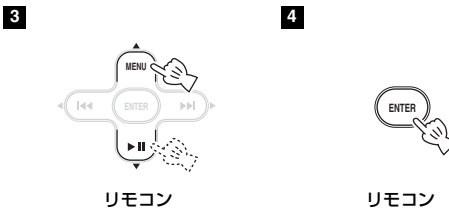
⚠️ ご注意

自動プリセットを実行すると現在登録されているすべての放送局が消去され、新たに放送局が登録されます。

▶ 手動プリセット



- 1 登録したい放送局を選ぶ。
^{メモリー}MEMORY
- 2 ^{メモリー}MEMORYを押す。



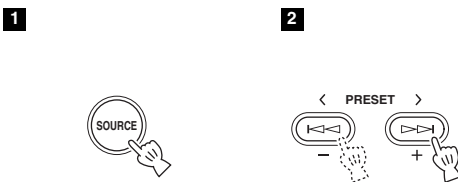
- 3 登録したいプリセット番号を選ぶ。



登録を途中でキャンセルするには、
^{メモリー}MEMORYを押してください。

- 4 ^{エンター}ENTERを押して登録を完了する。

登録した放送局を選ぶ（プリセット選局）



- 1 ^{ソース}SOURCEでFMまたはAMを選択する。
^{プリセット}プリセット
- 2 登録した放送局を^{プリセット}PRESETで選択する。



設定メニューの^{プリセット}PRESET ^{デリート}DELETEから登録した放送局を削除できます。リモコンの^{オプション}OPTION →カーソル▲/▼で^{プリセット}PRESET ^{デリート}DELETEを選択しリモコンの^{エンター}ENTERボタンを押したあと、不要な放送局を削除してください。

アラーム機能を使う

本機のアラーム機能の特徴

本機ではお好みの音楽、「ピピピ」というピーブ音、またはその両方を、設定した時刻に再生することができます。本機のアラーム機能には、次の特徴があります。

- 音楽と「ピピピ」というピーブ音を組み合わせた、3つのアラームタイプが選べます。

ソース SRC+BEEP	音楽ソースとピーブ音を設定した時刻に再生します。アラーム時刻の3分前から音楽ソースを再生し、小さい音量から徐々に設定した音量になります。アラーム時刻にはピーブ音を再生します。快適な目覚めを提供する、お勧めの設定です。
ソース SOURCE	選択した音楽ソースを設定した時刻に再生します。小さい音量から徐々に設定した音量になります。
ピーブ BEEP	ピーブ音を設定した時刻に再生します。

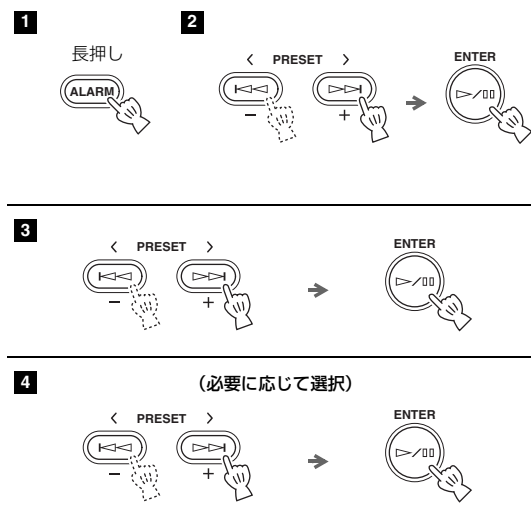
- 音楽ソースとして、iPod、オーディオ CD、データ CD、USB 機器またはラジオが選べます。音楽ソースによって、次のようにアラームを選択できます。

音楽ソース	設定	機能
iPod	レジューム再生	最後に再生していた曲の続きから再生します。
オーディオ CD/ データ CD/ USB 機器	曲指定	選択した曲を繰り返し再生します。
	レジューム再生	最後に再生していた曲を再生します。
FM/AM	プリセット登録局指定	選択したプリセット登録局がかかります。
	レジューム再生	最後に聴いていた放送局がかかります。

- スヌーズ機能を使用できます。

アラームを設定する

▶ アラームの時刻、タイプを設定する



1 本体のALARMを2秒以上長押しする。

アラームインジケータ (((●))) および設定できる項目が点滅します。

2 アラーム時刻を設定する。

- / + で「時」を選択し、ENTER で決定します。同様の操作で、「分」を選択します。

3 アラームタイプを設定する。

ソース ソース ソース ソース
SRC+BEEP、SOURCE、BEEP から選択します。詳細については、「本機のアラーム機能の特徴 (P. 10)」を参照してください。

4 ソースを選択する (必要な場合)。

ソース ソース
SRC+BEEP、SOURCE を選択した場合、音楽ソースを設定してください。AUX 以外のソースが選択できます。

5

(必要に応じて選択)

**5 再生する曲または放送局を指定する(必要な場合)。**

音楽ソースが CD/USB/FM/AM のとき、再生する曲または放送局を指定します。



- 最後に聴いていた曲または放送局を指定する場合は、「---」を選択します。
- 音楽ソースとして iPod を選択した場合、最後に再生した曲の続きから再生します。

6

**6 アラーム音量を設定する。**

最後に聴いていた音量を指定する場合は、「---」を選択します。
音量の設定が完了するとアラームが設定され、アラームインジケータ (**((●))**) が点灯します。



- アラーム設定中、1 つ前の設定に戻る場合は、リターン RETURN を押します。
- アラーム設定を途中でキャンセルする場合は、アラーム ALARM を押します。手順 6 が完了する前に。

▶ アラーム機能をオン/オフにする**アラーム機能をオン/オフにする。**

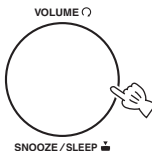
アラーム機能をオンにしたとき、アラームインジケータ (**((●))**) が点灯し、アラーム時刻が一定時間表示されます。

アラーム音再生中の操作

設定した時刻になると、選択したアラーム音が再生されます。再生中は下記の操作が可能です。

ご注意

アラーム時刻に選択された音楽ソースが再生できない場合 (iPod が接続されていない場合など)、代わりにピープ音が再生されます。

▶ スヌーズ機能を使用する**スヌーズ SNOOZE/スリープ SLEEP を押す。**

一時的にアラーム音を停止し、5 分後に再びアラーム音を再生します。



- アラームタイプが ソース SRC+ビープ BEEP のときは、スヌーズ SNOOZE/スリープ SLEEP を一回押すとピープ音を停止し、二回押すと音楽ソースを停止します。ピープ音は、音楽ソースが停止されてから 5 分後に再度鳴り、音楽ソースは、ピープ音が鳴る 1 分前に徐々に音量を上げながら再生します。
- スヌーズ中はアラームインジケータが点滅します。

▶ アラーム音を停止する



アラーム
ALARM もしくは を押す。

- アラーム音を停止しない場合、60 分後に自動的に停止します。
- アラームを停止すると、アラーム機能はオフになりますが、アラーム時刻など設定した内容は保持されます。再度アラームをオンにする場合は、ALARM を押してください。

シャッフル・リピート再生をする

シャッフル再生

繰り返し押す



リモコン

CD/USB	iPod
<small>シャッフル フォルダ</small> → SHUFFLE FOLDER (フォルダ内の全曲シャッフル)	<small>シャッフル ソングス</small> → SHUFFLE SONGS (曲をシャッフル)
<small>シャッフル オール</small> → SHUFFLE ALL (全曲シャッフル)	<small>シャッフル アルバムス</small> → SHUFFLE ALBUMS (アルバムをシャッフル)
<small>シャッフル オフ</small> → SHUFFLE OFF (シャッフルオフ)	<small>シャッフル オフ</small> → SHUFFLE OFF (シャッフルオフ)

リピート再生

繰り返し押す



リモコン

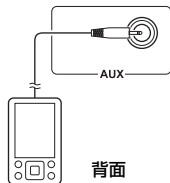
CD/USB	iPod
<small>リピート ワン</small> → REPEAT ONE (1 曲リピート)	<small>リピート ワン</small> → REPEAT ONE (1 曲リピート)
<small>リピート フォルダ</small> → REPEAT FOLDER (フォルダ内の全曲リピート)	<small>リピート オール</small> → REPEAT ALL (全曲リピート)
<small>リピート オール</small> → REPEAT ALL (全曲リピート)	<small>リピート オフ</small> → REPEAT OFF (リピートオフ)
<small>リピート オフ</small> → REPEAT OFF (リピートオフ)	



- iPod touch、iPhone では シャッフル アルバムス SHUFFLE ALBUMS は設定できません。
- 選択された音楽ソースがフォルダを含んでいる場合、フォルダシャッフル / リピートも選択できます。
- iPod を再生している場合、ご使用の iPod によっては、シャッフル、リピートが正しく表示・動作しない場合があります。
- iPod を再生している場合、シャッフル・リピート再生の順番は iPod の機種によります。

外部機器の音楽を聴く

1



背面

2



- 1 ポータブルオーディオ機器を市販の 3.5mm ミニプラグケーブルで AUX に接続する。

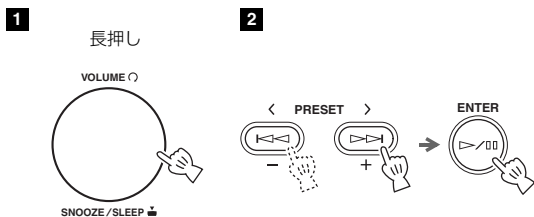
ご注意

接続する前に本機とポータブルオーディオ機器の音量を十分に下げてください。

- 2 SOURCE で AUX を選択する。
- 3 接続したポータブルオーディオ機器を再生する。
- 4 本機とポータブルオーディオ機器の音量を調整する。

スリープ機能を使う

自動的に本機をシステムオフにします。

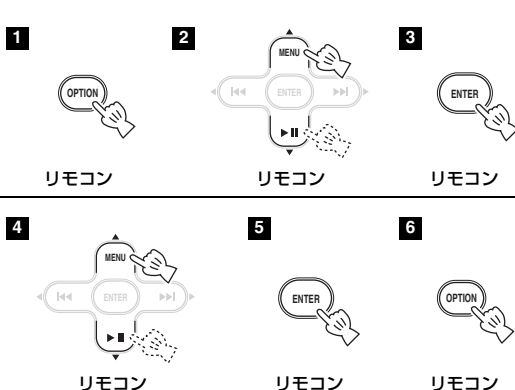


- ^{スヌーズ} **1 SNOOZE/SLEEP** を2秒以上長押しする。
 - ^{スリープ} **2 30、60、90、120分、SLEEP OFF** (設定なし) から、システムオフになるまでの時間を選ぶ。時間を選択するとスリープが設定され、^{スリープ} SLEEP インジケーターが前面ディスプレイに表示されます。
- ☀️
設定を途中でやめる場合は、^{スヌーズ} **SNOOZE/SLEEP** を押します。

設定メニューを使う

リモコンの ^{オプション} **OPTION** を押すと前面ディスプレイに設定メニューが表示されて、様々な機能を設定することができます。

設定メニュー	設定内容または調整範囲	参照ページ
プリセット PRESET DELETE	(入カソースがFMまたはAMのときだけ表示されます)	9
^{ディマー} DIMMER (表示の明るさ)	^{ディマー} DIMMER OFF (明るい) / DIMMER 1 / ^{ディマー} DIMMER 2 (暗い)	本ページ
^{トレブル} TREBLE (高音)	- 10 dB ~ + 10 dB	本ページ
^{バス} BASS (低音)	- 10 dB ~ + 10 dB	本ページ
^{オート} ^{パワー} ^{オフ} AUTO POWER OFF	^{タイム} TIME OFF / ^{タイム} TIME 8H / ^{タイム} TIME 4H 設定した時間、何も操作しない状態が続くと自動的に本機をシステムオフまたは省電力モードにします。	本ページ



- ^{オプション} **1 OPTION** を押す。
 - 2 ▲/▼** を押して設定したいメニューを選択する。
 - 3 ENTER** を押して確定する。
 - 4 ▲/▼** を押して設定を変更する。
 - 5 ENTER** を押して設定を確定する。他の項目を続けて設定するときは、手順2から繰り返します。
 - 6 OPTION** を押して設定メニューを終了する。
- ☀️
途中で設定をキャンセルするときは、手順5 ^{オプション} が完了する前に **OPTION** を押します。

▶ 表示の明るさと音質を設定する

- ^{ディマー} DIMMER: 前面ディスプレイの表示の明るさを切り替えます。
 - ^{トレブル} TREBLE*: 高音のレベルを調節します。
 - ^{バス} BASS*: 低音のレベルを調節します。
- * ヘッドフォン使用時にも有効です。

故障かな?と思ったら

使用中に本機が正常に作動しなくなった場合は、まず下記をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や下記の対処を行っても正常に作動しない場合は、本機のシステムをオフにし、電源コードをコンセントから抜いてから、お買上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」にあるご相談センターにお問い合わせください。

全般

症状	原因	対策
スピーカーから音が出ない。	音量が最小または消音に設定されている。	音量を調節してください。
	音楽ソースが正しく選択されていない。	正しい音楽ソースを選択してください。
	ヘッドフォンが接続されている。	ヘッドフォンを取り外してください。
音割れ、音の歪み、異音がする。	入力した音楽ソースの音量が大きいです。または本機の音量（とくに低音）が大きいです。	VOLUME で音量を下げるか、設定メニューの BASS (※ P. 13) で低音を調整してください。
本機が正常に動作しない。 システムをオンにしてもすぐにオフになる。	本機が落雷や過度の静電気など外部からの強い電気ショックを受けた。	本機のシステムをオフにして電源コードを抜いてください。約 30 秒後に電源コードをコンセントに差し、システムをオンにしてください。
周囲に設置しているデジタル機器や高周波機器から雑音が出る。	本機とデジタル機器または高周波機器の位置が近すぎる。	本機とそれらの機器を離して設置してください。
時刻の設定内容が消えた。	本機への電力供給が 5 分以上遮断されていた。	電力供給が 5 分以上遮断されると、本機のメモリーに登録された時刻設定が消えてしまうことがあります。この場合は時刻を再度設定してください (※ P. 6)。
アラームが BEEP 音になってしまう。	アラーム設定時に指定した音楽ソースが、接続または挿入されていない。	指定した音楽ソースが iPod/USB の場合は、接続を確認してください。CD の場合は、挿入を確認してください。
	アラームタイプが BEEP に設定されている。	アラームタイプを SOURCE、もしくは SRC + BEEP に設定してください (※ P. 10)。
時計が点滅していて、操作ができな い。	本体背面の CLOCK が SET になっており、時計設定中の状態。	本体背面の CLOCK を ON にしてください (※ P. 6)。
本体の電源が勝手に切れる。	自動システムオフ機能がはたらいた。	USB 機器や CD の再生を停止したあと、何も操作されない状態が 60 分間続くと、本機は自動的にシステムオフします。
	スリープ (※ P. 13) を設定している。	本機のシステムをオンにして再生しなおしてください。
	AUTO POWER OFF 機能がはたらいた。	AUTO POWER OFF の設定を TIME OFF にすることで継続的に再生することができます (※ P. 13)。

iPod

ご注意

本機の前面ディスプレイに下記のメッセージが表示されない場合は、iPodの接続をご確認ください。

表示	内容	対策
iPod Connecting iPod Charging	iPodとの接続を確認している。	前面ディスプレイのメッセージが消えず再生が始まらない場合は、iPodを接続しなおしてください(※P.6)。
Unknown iPod	iPodとの通信に問題が発生している。	iPodを接続しなおしてください(※P.6)。
iPod	本機に対応していないiPodが接続されている。	iPod classic、iPod nano(2G以降)、iPod touch、iPhoneのみに対応しています。
iPod Unplugged	iPodが認識しているが、iPodから再生時間などの情報が取得できない。	
	iPodが ^{ドック} iPod Dockから取り外された。	iPodを ^{ドック} iPod Dockに接続してください(※P.6)。
Over Current	本機に対応していないiPodが接続された。	一旦iPodを抜き、本機をシステムオフにして再度システムオンしてください。その後、対応しているiPodをもう一度挿入してください(※P.18)。
	iPodが斜めに挿入されている。	

症状	原因	対策
音が出ない。	iPodが ^{ドック} iPod Dockにしっかり接続されていない。	もう一度しっかり接続しなおしてください。
	ヘッドフォンが接続されている。	ヘッドフォンを取り外してください。
	iPodのソフトウェアが最新バージョンになっていない。	アップル社のウェブサイトから最新のiTunesソフトウェアをダウンロードし、iPodのソフトウェアを最新バージョンにアップグレードしてください。
iPodが充電されない。	iPodが ^{ドック} iPod Dockに正しく接続されていない。	一旦iPodを本機から取り外し、再度iPod Dockに正しく接続してください(※P.6)。
	システムが省電力モード(※P.2)になっている。	本体背面の ^{クロック} CLOCKを ^{オン} にして、省電力モードを解除してください(※P.4)。
何も操作していないのに再生中の曲が終了し、別の曲が始まる。	iPodのシェイク機能が有効になっている。	iPodのシェイク機能を無効にしてください。

ディスクの再生

症状	原因	対策
ディスクが挿入できない。	システムが省電力モード(※P.2)になっている。	本体背面の ^{クロック} CLOCKを ^{オン} にして、省電力モードを解除してください(※P.4)。
特定の機能が動作しない。	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機に対応ディスク情報および使用しているディスクの種類を確認してください(※P.17)。
本体もしくはリモコンの▶ ボタンを押しても再生が始まらない(すぐに停止する)。	ディスクが汚れている。	ディスクの汚れを拭きとってください。
	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機に対応ディスク情報および使用しているディスクの種類を確認してください(※P.17)。
ディスクを挿入後、「No Disc」または「Unknown Disc」と前面ディスプレイに表示される。	本機を気温の低い場所から高い場所に移動したため、レンズ部に露が付いた。	本機を、1～2時間ほど放置し、部屋の温度になじませてから、再度操作してください。
	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機に対応ディスク情報および使用しているディスクの種類を確認してください(※P.17)。
	ディスクが汚れている、または異物が付着している。	ディスクを取り出し、汚れを拭きとってください。または付着した異物を取り除いてください。
	再生可能なファイルがディスクに入っていない。	再生可能なファイルが入っているディスクを挿入してください(※P.17)。
	ディスクが裏返しに挿入されている。	ラベル面を手前にして挿入してください。
	内部でエラーが発生した。	▲でCDを取り出してください。

USB 機器の再生

ご注意

下記のように対処しても不具合がある場合は、USB 機器の接続をご確認ください。

表示	内容	対策
USB Unplugged	USB 機器が正しく確実に接続されていない。	USB 機器を接続しなおしてください (※ P. 7)。
Unknown USB	非対応の USB 機器が接続された。	本機に対応した USB 機器を使用してください (※ P. 17)。
	ファイル名が長すぎる。	ファイル名を全角 80 文字、半角 250 文字以内に修正してください。
Over Current	USB 機器が斜めに挿入されている。	一旦 USB 機器を抜き、本機をシステムオフにして再度システムオンしてください。その後、対応している USB 機器をもう一度挿入してください (※ P. 17)。
No Files	再生可能なファイルが USB 機器に入っていない。	再生可能なファイルが入っている USB 機器を接続してください (※ P. 17)。
	本機に対応していない USB 機器を接続した。	本機を一旦システムオフにしてから USB 機器を接続しなおしてください。もし、再度同じ症状が現れた場合は、接続された USB 機器は使用できません。
USB Time Out	ファイル数、フォルダ数が制限を超えている。	ファイル、フォルダ数を制限以内に減らしてください (※ P. 17)。

症状	原因	対策
USB 機器内の MP3/WMA ファイルが再生できない。	USB 機器が認識されていない。	本機のシステムをオフにして USB 機器を取り外してください。その後、システムをオンにして USB 機器を接続しなおしてください。
		USB 機器に AC アダプタが付属している場合、AC アダプタを接続してください。
		USB 機器をフォーマットし、再びファイルをコピーしてください。
		上記の対策をしても症状が改善されない場合、お使いの USB 機器は本機に対応していません。

FM/AM 放送局の受信

症状	原因	対策
ステレオ放送になると雑音が多くなる。	アンテナが正しく接続されていない。	アンテナが正しく接続されていることを確認してください (※ P. 4)。
	選択している放送局の電波が弱い、またはお住まいの地域の放送局の受信感度が良くない。	手動チューニングで雑音を軽減するか (※ P. 8)、市販の屋外アンテナを使用してください。
屋外アンテナを使用しているにも受信感度が悪い (音が歪むなど)。	マルチパス (多重反射) などの妨害電波を受けている。	アンテナの高さや方向、設置場所を変えてください。

リモコンの操作

症状	原因	対策
リモコンで本機を操作できない。	リモコンの操作範囲外から操作しようとしている。	リモコンの操作範囲については、「リモコンを使用する」(※ P. 5)を参照してください。
	本機のリモコン受光部 (※ P. 5) に直射日光や照明があたっている。	照明または本機の向きを変更してください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。
	リモコンと本機のリモコン受光部の間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。

ディスクおよび USB 機器について

ディスクに関するご注意

本機は下記のロゴのついた音楽 CD、CD-R/RW^{*1} を再生できます。



^{*1} ISO 9660 フォーマットの CD-R/RW



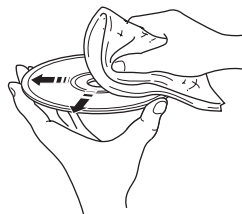
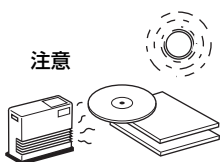
ディスクのロゴマークは、ディスクやディスクのジャケットに印刷されています。

ご注意

- 本機の故障やディスクの破損の原因となりますので、上記以外のディスクは使用しないでください。
- ファイナライズされていない CD-R や CD-RW ディスクは再生できません。ファイナライズとは、各ディスクの再生対応機器で再生できるように処理することです。
- 信頼できるメーカーのディスクを使用してください。録音状態やディスクの特性によっては、再生できない場合があります。
- ハート型などの特殊形状のディスクは使用しないでください。
- 表面に傷のあるディスクは使用しないでください。

ディスクの取扱いについて

- ディスクを持つときは、ディスクの縁や中央の穴を持つようにし、表面に触れないでください。
- ディスクに鉛筆などで字を書かないでください。
- ディスクにテープやシールなどを貼ったり、のりなどをつけないでください。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わないでください。
- ディスク以外のものを CD 挿入口に入れないでください。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- ディスクを保管する際には、直射日光のあたるところや温度の高いところ、湿気やほこりの多いところは避けてください。



- ディスクが汚れたときには、乾いた柔らかい布で中心から外側へふいてください。レコードクリーナーやシンナーなどは使わないでください。
- 誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーなどは使わないでください。
- ディスクは 1 枚だけ挿入してください。2 枚以上重ねて挿入すると故障の原因となり、ディスクを傷つけることにもなります。

USB 機器に関するご注意

本機で再生できる機器は、USB マスストレージクラスに対応し、データが FAT16 または FAT32 ファイルシステムで記録されているフラッシュメモリ、ポータブルオーディオプレーヤーです。

ご注意

- お使いの USB 機器によっては正常に作動しないことがあります。
- USB マスストレージクラス以外の機器（USB チャージャーや USB ハブ）、PC、カードリーダー、外付け HDD などは本機に接続できません。
- USB 機器を本機と接続して使用しているときに、USB 機器のデータを消失あるいは損傷した場合、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- すべての USB 機器に対して、動作および電源の供給を保障するものではありません。
- 暗号化機能付きの USB 機器は使用できません。

MP3 および WMA ファイルについて

ご注意

- 本機は以下のファイルに対応しています。

ファイル	ビットレート (kbps)	サンプリング周波数 (kHz)
MP3	8-320 ^{*2}	16-48
WMA	16-320 ^{*2}	22.05-48

^{*2} 固定および可変ビットレートに対応しています。

- 本機が表示できるファイルおよびフォルダは以下の通りです。

	データ CD	USB
最大ファイル数 ^{*3}	512	9,999
最大フォルダ数 ^{*3}	255	999
1 フォルダ内の最大ファイル数	511	255

^{*3} ルートもフォルダの一つとして数えます。

- 著作権保護がされているファイルは再生できません。

主な仕様

▶ プレーヤー部

iPod (デジタル接続)

- 対応 iPod/iPhone (2011 年 7 月現在)
 - iPod touch (第 1、第 2、第 3、第 4 世代)、iPod classic、iPod nano (第 2、第 3、第 4、第 5、第 6 世代)、iPhone 4、iPhone 3GS、iPhone 3G、iPhone

CD

- メディア CD、CD-R/RW
- オーディオフォーマット オーディオ CD、MP3、WMA

レーザー

- タイプ 半導体レーザー GaAs/GaAlAs
- 波長 790 nm
- 出力 7 mW

USB

- オーディオフォーマット MP3、WMA

AUX

- 入力端子 3.5 mm ステレオミニジャック

▶ アンプ部

- 最大出力 15 W + 15 W (6Ω 1 kHz, 10% THD)
- ヘッドフォン端子 3.5 mm ステレオミニジャック (適合インピーダンス 16 ~ 32 Ω)

▶ チューナー部

受信周波数範囲

- FM 76.0 ~ 90.0 MHz
- AM 531 ~ 1629 kHz

▶ 総合

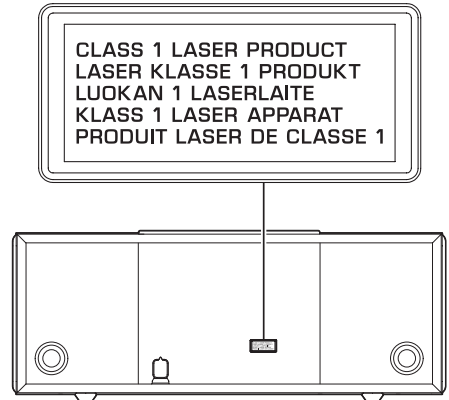
- 電源電圧 / 周波数 AC 100 V、50/60 Hz
- 消費電力 23 W
- システムオフ時消費電力 2.7 W
- 省電力モード時消費電力 0.2 W
- 外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き) 457 × 180.5 × 173.5 mm
- 質量 5.1 kg

仕様、および外観は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

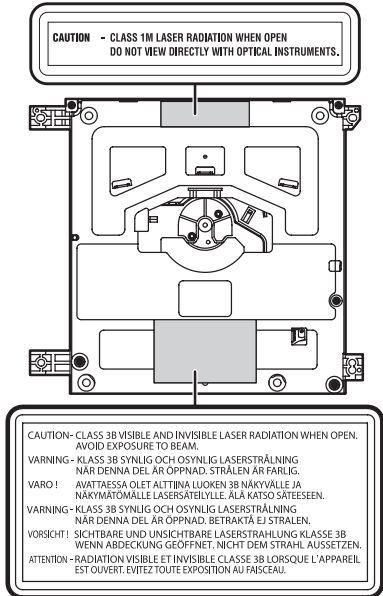
VCCI - B

製品ラベルは本体の背面に掲示してあります。



【注意】


この取扱説明書に記載されている以外の調節や操作は、有害な放射を引き起こす可能性があります。



お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ヤマハお客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通)  0570-011-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受付：月～金曜日 10:00～18:00 土曜日 10:00～17:00
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)


■ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。

<http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/>

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通)  0570-012-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

受付：月～金曜日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越地域にお住まいのお客様
(03) 5762-2125

九州、沖縄、中国、四国、近畿、東海、北陸地域にお住まいのお客様
(06) 6465-0367

修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 9:00～17:45
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50
ヤマハセンター内
FAX (011) 512-6109

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

名古屋 〒454-0832 名古屋市中川区清船町4丁目11-1
ピアノ運送(株)名古屋営業所1F
FAX (052) 363-5903

大阪 〒554-0024 大阪市此花区島屋6-2-82
ユニバーサル・シティ和幸ビル9F
FAX (06) 6465-0374

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4
FAX (092) 472-2137

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

- **保証期間**
製品に添付されている保証書をご覧ください。
- **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。
- **修理料金の仕組み**
技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- **補修性能部品の最低保有期間**
補修性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示しております。
- **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。
- **摩耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ポリウムコントロール、スイッチ、リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を!



愛情点検

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1

